

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援かいんどはびすま		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別のマンツーマンの療育 →支持が入りやすく、できる事を増やすことができること	・お子様の成長に合わせて、支援内容や、内容数(1回)を支援者が工夫して準備している。その日の体調や、気持ちに合わせて、臨機応変に内容の変更もできる。保護者の要望や、主訴によって長期目標を立てて本人と保護者に達成感を味わってもらえるような療育を心がけている。	・短期目標としては、支援者と信頼関係を構築して、場所にも慣れて楽しんで通所していただけるよう要望や、意見をくみ取れるような場所と時間を設けるようにする。 ・楽しい支援内容につながる為に、工夫やアイデアを出せるように常に、支援者も学ぶ姿勢を惜しまない。また支援内容の職員間の共有をして、支援に反映させていけるようにする。
2	・利用者それぞれに合わせた、オーダーメイドの療育 →お子さまに合わせて、保護者のご要望も含めて、毎回違う内容の支援内容で療育ができること	・出来たを増やし、自信につなげてもらえるよう促している。学習や、コミュニケーションでの躓きの理由を補助して経験値を高めて、成功体験を多く積んで、あらゆる生活の場面、特に集団の生活での困り感を軽減することができるようにしている。	・ご要望に沿って、課題に楽しんで取り組み、習得して成功体験から自信を持って、他者と関わられるように支援方法を学び、状況や成長に併せて、随時変更していけるように支援者も成長する為の学びを深めていく。 ・お子様と共に、保護者の不安や、困り感に気づきやすい環境を作っていく。
3	・保護者様と毎回顔を合わせ、当日の様子と今後の支援などをお話するフィードバックという時間の設定 →家庭や学校などの様子を共有でき、支援内容に活かすことができること	・年齢の低いお子さんの支援内容は、保護者の要望と本人の興味関心のある事を織り交ぜながら、目標に向かって成長していけるように支援内容・課題・教材などを工夫している。 ・相談は、随時受け入れて、集団での相談もおしゃべり会という形式で実施している	・支援内容が保護者の要望に偏りがちになる。お子さん本人が楽しく取り組めるように折り合いをつけることが大きな課題もある。 ・支援者が、子供達の苦手意識のある課題も嫌いだけれど楽しく取り組めるような知識と方法を身に付ける為に学んでいけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別で短時間の支援なので、学習理解の定着が難しいこと ・利用日数の違いがあること	・個人差やそれぞれの学校からの宿題の量などの違いがあるため ・予定時間があるため療育時間(個別)日々の宿題や音読などを進められないことで時間が足りなくなってしまうため	・一人一人の状況を把握し、お子様に寄り添いながら、学習支援をしていく必要がある。 ・学習支援においては、お子さまに理解しやすい教材や繰り返し練習するプリントを準備し、対応する。
2	・コミュニケーションの練習などは机上の練習だけでは想像力や、支援者とのやり取りからでは実践できないケースがあること	・SSTやABAなどを繰り返す行いもの、実際の場面では机上での学習では限界があるため、体験活動や人と接することを多く取り入れることで体感させていく必要がある。	・机上でのSSTを充実させるために、支援者がやり取りの技術を向上させるために学んでいく。また、成功体験と共に、失敗しても頑張る力を身に付けられるようにする。 ・周囲から「愛され応援される」を目指し、まずは職員がお子さまをたくさん愛し応援していけるようにする。
3	・ご利用希望者の方が多いが、退会者も少なく、支援が必要だと思われるお子さん達にご利用いただけない事	・早期療育の大切さを知っていただき、年齢が低い時から支援させていただける様に周知活動を行っていく。	・「誰にだって輝ける舞台がある」どのお子さんにも無限の可能性のある事、可能性を引き出すサポートをさせていただく、保護者とお子さんにとって優しく笑顔の多い居場所となるように寄り添う姿勢を忘れず療育に取り組んでいく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 総合発達支援かいんどはびすま

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 32

回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	4			・なるべく外に連れ出してくれていると思いますが、施設自体の広さがもっと広いといいと思います。	・お子さまの成長と共に、施設スペースが狭くなっている。公民館や図書館などの公共施設を利用する機会を増やし、お子さまが窮屈な思いをしないように配慮していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		2	・入所当時と比べ非常に職員数も増えている印象ですが実際のところどんな先生達がいらっしゃるのかわからない状況です。職員の数や職種・資格などが保護者にも年1回くらいは示していただければ安心です。	・保護者会の機会に、職員紹介を行っている。次年度は紙媒体での職員紹介を行う予定です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		2		・お子さまの情報教習は、緊急は毎日、面談等の報告は月に1回行い共通理解を図っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			1		・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2			・子供を良く見て下さり、放デイに通うのを楽しみにしています。ありがたいです。 ・とても満足しています。	・今後も研修を行い、お子さま、保護者の皆様にご指示いただける事業所となるよう、努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			2		・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1			・保護者との面談の時間ももうけていただきありがたいです。	・次年度も定期的に面談を行い、お子さま保護者に寄り添う事業所となっていきたいと思います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			1		・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25			1	・毎月の活動を子どもがとても楽しみにしています。	・今後も研修を行い、お子さま、保護者の皆様にご指示いただける事業所となるよう、努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	4	3	4	・とても助かっています。 ・当方の利用は個別希望でお願いしているため。	・年に1回、他施設交流を行い、他施設のお子さまや職員との交流を行っております。ワークショップへの参加もあり、地域のお子さまとのふれあいの時間となるよう心がけております。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1				・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	2			・保護者説明会や保護者のおしゃべり会など、ほかの事業所にはない時間をとってくれていてありがたいです。 ・ペアレントトレーニングの研修会を受けたい。	・次年度は外部講師をお招きし、ペアレントの研修も提供していきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	3			・先生によりますが概ねその日の活動について伝えていただいています。	・日々の活動についての記録だけでなく、送迎の際の短い時間を利用し、活動の様子をお伝えできるようにしていきたいと考えております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1		1		・さらに改善できるように努力していきたいと思います。

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1				・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2		5		・保護者会やおしゃべり会、次年度はきょうだいが参加できるスポーツ大会や夏祭りを計画しております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		1		・事業所からの面談だけでなく、随時面談ご希望の際は迅速に対応していきたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1				・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		2		・事業所ホームページにて発信していることをお伝えしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1				・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		3		・マニュアルの作成だけでなく、ホームページにて周知していきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		2		・年12回の避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		2		・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		3		・首より上のケガについては保護者様より指定医院の受診を行う。ケガや体調不良については必ず電話、訪問での説明を行っている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1				・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1			・美味しいおやつや、楽しい遊びがたくさんで楽しく通っています。 ・とても楽しみにカレンダーをみます！	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1			・とても満足しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		総合発達支援かいんどはびすま				公表日	2026年 3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・状況に応じて戸をはずす等の工夫があります。	・お子さまの成長に伴い、施設が狭く感じることもあると思います。公民館や図書館での活動など、公共施設を利用しての活動を増やしていき、お子さまが窮屈に感じないように努力していきたいと考えております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・1対1を基本に療育に携われるようにしています。	・ABA療育、学習支援等、お子さまが安心してじっくり取り組める療育を強化していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・安全な物の配置、季節によって視覚的に飾りがあり、季節感を感じられるようにしています。	・バリアフリー化への対応は現在できておりません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・年中行事を意識した教室環境を整え、清潔で安全で過ごせるように配慮しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・部屋で分けるだけでなく、パーティションを使い個別の空間を作れるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・児童への対応方法など職員研修を行い、共通理解の下、目標を設定しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・研修等で共通理解を図るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・意見しやすい環境が整っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・保護者の意見や考えは真摯に受け止め、業務改善に努めています。	・評価を共通理解を図り、今後の業務改善につなげていきたいと思えます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・様々な研修には積極的に参加出来るように職員への声かけを行っています。	・内部、外部どちらの研修もさらに増やして行きたいと思えます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・療育プログラムにおいては、振り返りを行い、評価、計画のなり直しなど随時向上できるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・半年に1回、保護者、通園先の先生にお願いし、アセスメントを取っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・子どもたちとの関わりの中で感じたことや疑問点を常に検討できる職員間の雰囲気作りを努めています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・療育の際に確認できるようなファイルを作り、検討だけでなく、常に身近に支援計画が見られる工夫をしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・随時確認しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・設定しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・計画的に立案ができるように日程を調整しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思えます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・5領域をまんべんなく実施できるように配慮するとともに、一度行った物も改善をしながら取り組めるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別、集団の時間を確保しながら療育を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・朝の打ち合わせ、昼食後にもミニ打ち合わせを行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・支援終了後はその日の療育の様子だけでなく、今後の療育についても話し合うようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・療育内容に合わせて、評価と一体化した記録を心がけています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・担当職員を中心にモニタリングを行うようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		・5領域の中に「4つの基本活動」を組み合わせながら療育を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・自己選択を進んでしていけるような療育を心がけています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児発管を中心に担当職員が同席するケースや担当職員ができるだけ会議に参加出来るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・面談を行い、支援計画等の共通理解を図るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・関係機関とは連携を図り、ダブルチェックを行うことトラブルを防ぐようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・面談を行い、支援計画等の共通理解を図るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		・現在、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する生徒はいませんが、必要に応じて対応して行きたいと思います。	・現在該当する利用者はいませんが、将来的に必要な場合があるかもしれない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	地域に児童発達センターが無いため連携が難しい状況です。市内の研修会等には積極的に参加しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		他施設交流などを積極的にしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	・時間に都合がつく限り散加をしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・面談だけでなく、送迎の際に気軽に話し合える雰囲気作りを努めています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・保護者おしゃべり会を行い、SSTやABAなどの研修を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約の際に詳しく説明を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・面談を通して保護者の思いや相談支援員の方との話し合い、通園先の職員との話を元に計画を立てるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・面談の際に項目を確認しながら説明を行い、同意を得るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・不安や心配なことがあればいつでも連絡ができるような関係を気付けるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者おしゃべり会やイベントへの兄弟への散加などを促す活動を積極的に計画しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情マニュアルを下に、対応しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・ホームページやSNSを使い活動の様子を全体にお知らせするだけでなく個別に活動の様子を具体的にお知らせしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・十分注意しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・配慮できるように心がけています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・市役所でのワークショップへの参加や大型ショッピングモールでのワークショップなど地域の方とのふれあいの場を設定しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・マニュアルの策定だけでなく、訓練を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・業務継続計画の策定や訓練を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・服薬状況確認して対応しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・食物アレルギーについては、契約の際に確認し、対応しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・安全計画を作成し、担当職員が役割を意識して行動できるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・引き渡し訓練の実施など様々な災害に対応できるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・どんなに小さなケガでも、ヒヤリハット事案として共通理解を図り再発防止に努めています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止マニュアル等を確認し、お子様が安心して療育できる場となるように配慮しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・身体拘束マニュアル等を確認し、お子様が安心して療育できる場となるように配慮しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	